

四国がんセンターにおける クリニカルパスの管理の現状と 今後の課題

独立行政法人国立病院機構四国がんセンター

クリニカルパス推進委員会

岸田恵

2002年 3月 がん診療拠点病院に指定
2006年 4月 新病院へ移転
2007年 1月 都道府県がん診療連携拠点病院に指定



ベッド数：405床（緩和ケア25床、ICU4床）
平均在院日数：19.0日（2008年）
病床利用率：89.8%（2008年）
外来患者：平均479.2人/日（2008年）
手術数：2655件（2008年）
外来化学療法数：8534件（2008年） 35.1件/日
職員数：579名（派遣職員は含まない）
医師：82名（非常勤3名、レジデント15名、後期研修医1名）
看護師：約350人（がん看護専門看護1名、認定看護師11名）

クリニカルパスと委員会組織の変遷

第一世代 1999年

オーバービュー形式

第二世代 2000年

日めくり式＋共有記録

2001年12月
2002年7月

パス推進委員会発足
パス管理委員会発足

第三世代 2003年

オールインワン形式

2004年4月

パス専任事務員活動開始

第四世代 2005年

目標（アウトカム）志向パス

2007年6月	* 看護師活動開始	1人	(1日/週)
2009年4月	* 看護師	3人に増員	(1日/週)
2010年4月	* 看護師	6人に増員	(1日/週)

第五世代 2011年3月

電子パス 電子カルテ

*パスに関する活動を行う看護師

クリニカルパス登録件数（2010年5月現在）

● 103件登録 ●

<形式別>

* オーバービュー	5件
* オールインワン	93件
うち	
目標(アウトカム)志向	82件
* その他	5件
● 審査前・審査中	11件
● 審査後：未承認	14件

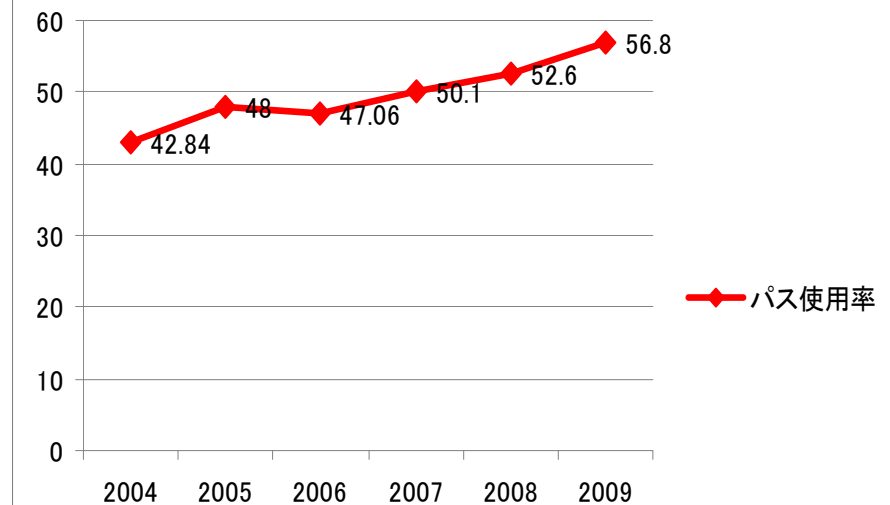
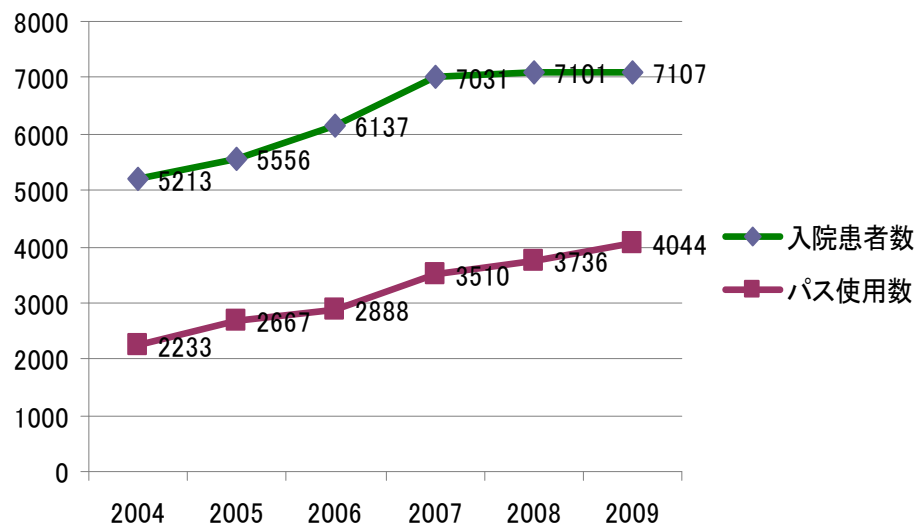
<治療別>

* 手術療法	47件
* 化学療法	28件
* 検査及びその他	28件



クリニカルパス使用数と使用率の推移

	2004	2005	2006	2007	2008	2009
入院患者数	5213	5556	6137	7031	7101	7107
パス使用数	2233	2667	2888	3518	3736	4044
パス使用率	42.84	48.00	47.06	50.1	52.6	56.8
承認パス数	80	69 未使用パスを整理	77	88	102	103



看護師の活動内容

- 医療職として管理する人がいない
- 疑問が生じた場合に相談する人がいない



- クリニカルパス規約の改訂（必要時適宜）
- 診療録・看護記録委員会と連携
- 病院の動向を把握し、医療職として確認



- パスに関する規定が守られていない
- 未承認のクリニカルパスや、勝手に改訂されたクリニカルパスが使用される
- 当該ワーキンググループしか、変更を知らない場合がある



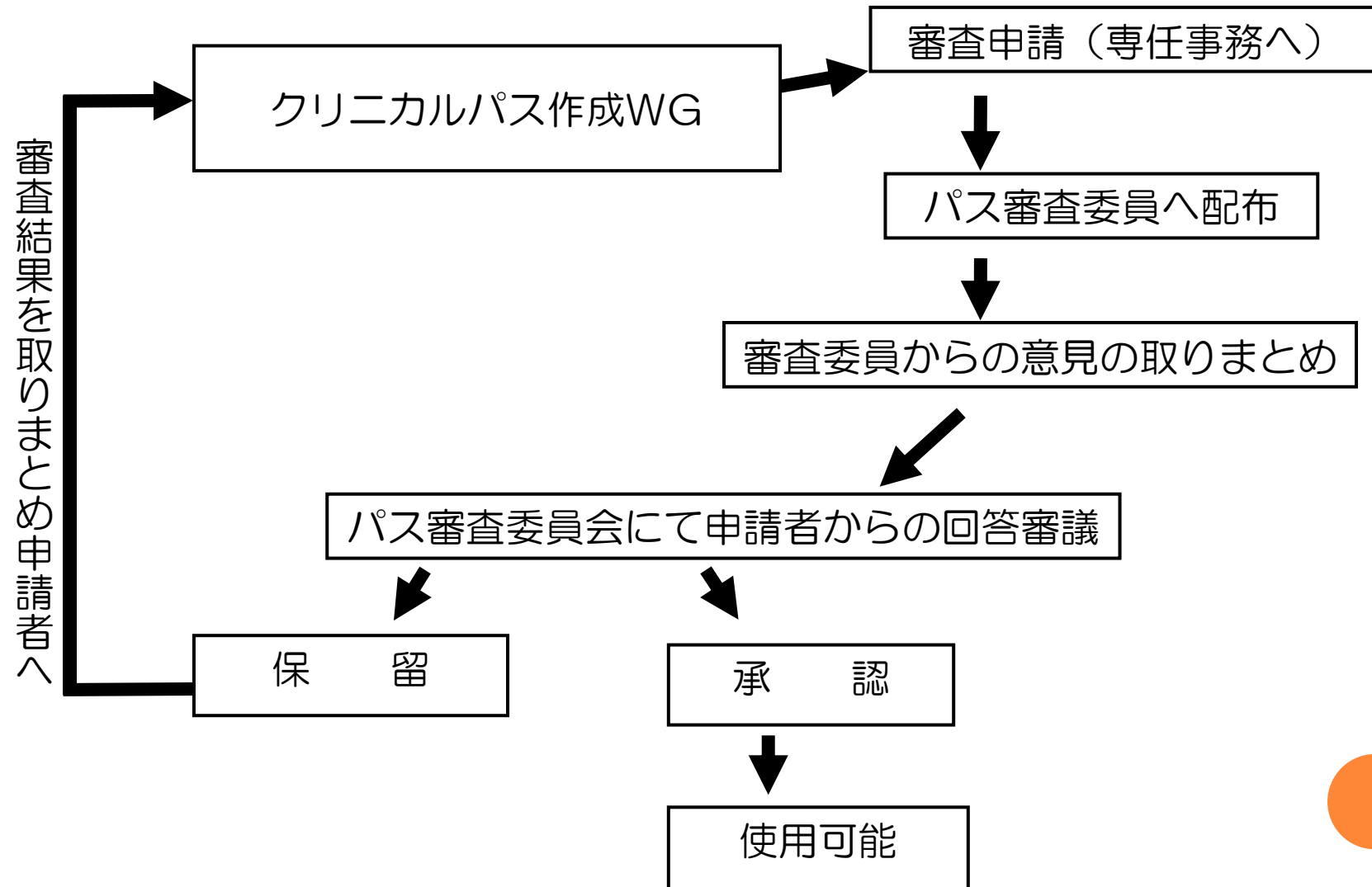
- クリニカルパスはすべて審査され、承認されたものを使用
- 管理は一元化



クリニカルパス 管理の現状



クリニカルパスの審査



クリニカルパスの審査委員

- 副院長
(兼任：診療録管理委員長)
- 看護部長
- 事務部長
- 薬剤科長
- 放射線科技師長
- 検査科長
- 医長、医師
- 診療情報管理士
- 看護師長、副看護師長

など



パス審査委員会 (月1回 不定期)



- 外科系医師
- 内科系医師
- 看護師
- 診療情報管理士

- パス作成担当者
(医師・看護師
その部門の管理者)



承認

- クリニカルパスを修正
(看護師が繰り返し確認)
- 最終的にクリニカルパス推進委員長が
確認した後、診療録管理委員会で承認
- 承認後、
全職員が分かるようメールで周知
- 一般用ホームページならびに
院内ホームページ内で、全症例を公開



運用

- 院内で決められたファイルの中の「ファイル管理」に保存し、一元管理
- 印刷の一元化
 - ・ 各病棟でのコピー禁止
(新旧のパスが混じることを予防)
 - ・ 印刷はパス専任事務員が担当
- 印刷後は、各病棟で使用



改訂

- ファイル管理のデータから
クリニカルパスをダウンロード
- 修正・訂正後、推進委員会へ提出
- 看護師が確認後、改訂
- 全職員にメールで周知



現在の管理上の問題点

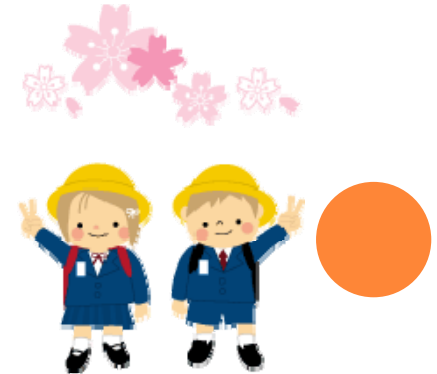
- クリニカルパスに使用されている用語が、各パス毎で異なっている
- 目標（アウトカム）志向パスに変更されていないパス、長期間使用されていないパスが存在する



第五世代 電子パスの導入

2011年3月稼働に向けて対策開始

- クリニカルパスで使用する用語の統一
→ 用語マスターの作成
- 電子パスとして使用するパスの選定
- 電子パス化への作業を検討
(各ワーキンググループと協力)
- 電子パス規約への改訂



まとめ

- パスの承認・改訂のシステム化、管理の一元化
→ 電子パス規約への改訂
- 目標（アウトカム）志向に変更されていないパス、
長期間使用されていないパスが存在する
→ 電子パスに向けてパスの見直し
- 使用されている用語にバラツキがある
→ 用語マスターの作成

